



Design your own road

The cover of WHILL Magazine, April 2018. The title "WHILL MAGAZINE" is prominently displayed in large red letters at the top right. Below it, the text "WHILLの月刊誌" is written in smaller red letters. In the bottom right corner, the date "2018 APR. 4" is printed. The central image features a smiling man in a lime green sweater and black cap sitting on a black WHILL electric mobility scooter. He is positioned in front of a large tree with cherry blossoms. The background shows a traditional Japanese garden with stone paths and small buildings.

WHILL株式会社

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-40 横浜市産学共同研究センター実験棟F区画
WHILLコンタクトデスク TEL: 0120-062-416 (IP電話の方: 050-3085-9840)
受付時間: 9:00~19:00 (平日)
HP: <https://whill.jp>





お客さまインタビュー

KENICHI OKAWARA

VOLUME. 28

大河原 謙一さん

春の野に、写真を撮りに出かけたい

飯能市にお住いの大河原様は、初めての電動車椅子としてModel Cを2017年11月にご購入されました。

12年前に脳出血で倒れ、当初は言葉を喋ることも難しい状況でしたが、リハビリのかいあり、

今では杖についての歩行ができるまでに回復されました。

20年来の趣味である写真撮影に出かけたいという思いをずっとお持ちで、今回WHILLをご購入頂きました。

なぜWHILLを選んだのか？

3年くらい前にModel Aをテレビで見て、その時から気になっていました。デザインが素敵で、障害者の乗り物というイメージがないところが、とても魅力的に見えました。ただ、Model Aは高価で性能が高く、杖で歩くことのできる私にとっては少し過分ではないかと感じ、購入をためらっていました。その後、2017年5月頃にModel Cが発表されたことを知り、これなら買って乗るのにちょうどいいと思ってすぐに連絡をしました。そのときはまだ予約受付しかしていなかったので、納品まで心待ちにしていましたね。納品日の連絡が来たときの嬉しさはいまでも覚えています。

WHILLの気に入っているところ

コンパクトで狭い道でも走れるところです。田舎の歩道はあまり整っていませんが、安心して運転できます。斜めになっている道でも、安定しているので転倒の心配は感じません。デコボコした道が多いのですが、二輪駆動でも意外とパワフルに走るんだなと驚いています。



作品の写真を持って奥様と



WHILLに乗ってこれから行きたいところ

すっかり春めいてきたので、WHILLに乗って近くのカタクリの花の群生地に写真を撮りに行きたいと思っています。昔は鳥の名前や草木の名前を全然知りませんでしたが、写真を撮るようになってからよく覚えるようになりました。飯能にはカワセミがいて、昔はよく撮影していたのですが、脳出血で倒れて以来、行けなくなっていました。WHILLに乗れば、以前のようにまた撮りに行くことができるかもしれませんね。どこまで行けるかは少しづつ試してみるとになりますが、行動範囲を広げていきたいです。



WHILL Model C オプション紹介

ACCESSORIES FOR MODEL C

WHILLは体幹がしっかりした人でないと乗れない…
とお考えではありませんか？



WHILL Model C
パイプフレームタイプ

480,000円(非課税)
さまざまなバックサポート
クッションやヘッドサポート
を装着することができます。
分解時にはフレームの折りたたみが可能です。

市販の製品を取り付けることも可能です。

例えば…

ヘッドサポート

様々な形状のヘッドサポートが取り付けられます。頭部のサポートが必要な方に。



高性能なバックサポート

体幹が左右に倒れてしまう方の身体状況に合わせた、ディープバックやラテラルサポートなども取り付けることができます。



パイプフレームによってこのようなものが取り付けられます。

バックサポートハンドル

15,000円(非課税)
腕をかけて体勢を整えたり、除圧したりするためのハンドルです。
※本体と同時購入のみ。※介助者の方が後ろから押すためのハンドルではありません。



バリライト

バックサポート クッション

S 62,640円 M 62,640円 L 68,040円(税込)
ポジショニングと座位保持に特化したバックサポートです。お身体に合わせて3種類の高さのバック形状からお選びいただけます。



NEWS

WHILL Model CがRed Dot Design Award 2018の最優秀賞を受賞

Model Cは、ドイツで開かれた国際的に権威のあるデザイン賞である「Red Dot Design Award 2018: Product Design」にて、最優秀賞である「Best of the Best」をヘルスケア部門で受賞しました。この受賞により、グッドデザイン賞2017(日本、4,495件が応募)、iF Design Award 2018(ドイツ、世界54カ国から6,402件が応募)に続く3つ目のデザイン賞受賞となります。

Red Dot Design Awardは60年以上続く世界的なデザイン賞の一つで、2018年度は世界59カ国から6,300件以上の応募がありました。今回、Model Cが受賞した「Best of the Best」は、48の製品分野においてそれぞれ最も優れた製品に贈られる賞です。



reddot award 2018
best of the best